

第33号  
平成23年8月



## もう一つの道

情報は、うのみにせず、注意深く徐々に試して下さい。

山田整骨院  
熊本市出水4-25-1  
096-364-7611  
<http://yamadasu.com/>  
E-mail:yamadasu@opal.ocn.ne.jp

大変貴重です!!

(西式)応急処置法(その一)  
昭和18年9月号

西 勝造  
月刊 健康科学

近時、時局の緊迫につれて、真剣に救護法のことを考えられ、これを各方面で熱心に研究、練磨されているようですが、西式の応急法について、大体のところを述べてみましょう。

先ず外部の損傷。汽車、自動車、電車等にひかれる、機械に巻き込まれる、銃や刃でやられる、苛烈な戦いの最中ですから、この大出血ということは、非常に多いことと思います。隣組の訓練も、この事について特に訓練を必要としましょう。…略…出血を止めるために、包帯をするのは結構ですが、その場合には、手と足を、全て上へあげて処置する事であります。この事は、ドイツのランゲの「救護法」などにも寝かせて置いて、足を持ち上げて包帯すると、出血も少く、化膿もしないと述べがありまして、この点我意を得たりの感があります。手足を上へあげて処置すれば出血も少く化膿もしないのです。またこの傷が、手足であった場合は、何もつけないでもよろしいのです。血の出ないように縛っておいて、これを上へあげて、毛管運動をするのです。これは、身体の傷にしても、手足をあげて充分に振っていると、化膿はさけられるのであります。先日のこと、現役中尉の方が見えられて、母指を真直に切って終われたが、それを振って治したと語られておりました。ハンカチで縛っておいて、一日振っておられたそうですが、全く完全に治って終ったと喜んでいました。…略…毛管運動、これによって一命を完全にとりとめ得るのです。…略…(捻挫)挫傷の場合は、捻れたのを、元に戻して、毛管をやる。刺傷の場合もクリマグでも塗って毛管をなされば好い。充分に振ってさえおれば、傷口に何か入っておっても、出てきますし、出ない場合でも、一旦治ってから出て参ります。銃創のような場合でも、手足でありましたら、盛んに毛管運動をやれば充分です。これも先日、現役主計の方が見えられて、相当弾丸をうけたが、自分は、幸いに毛管を知っておったので、訳なく治すことが出来たと、その傷口を見せられました。

その方の話では、同様な傷をうけた同僚たちが、みんな化膿して困ったのに、自分だけが、毛管を、充分やって救われたと云うことでした。…略…

人事不省の場合の処置…略…意識が消失し、何らのうけ答がない場合…は、顔が蒼かった場合は、枕をしないようになさる。顔が赤かったら枕をする。そして顔に触ってみて熱くなるようでしたら、毛管をなさればよろしいし、熱くならないでしたら、そのまま静かに置けば良いというのが、人事不省の場合の一番良い方法であります。

骨折の場合これは単純骨折とか、複雑骨折とか、いろいろの場合がありますので、一口には申せませんが、先づ普通の場合は、副木をして、微動毛管の方法をとる。

毒虫に咬まれた場合。南方に行かれています方は、特に多いことと思いますが、これは、全て毛管でよろしいのです。かなり酷く蛇のようなものに咬まれた場合でも、毛管で良いのです。マラリヤ蚊に刺された場合でも、朝晩毛管運動をなされると、何んでもなく助かります。血液の循環ということが大切なのです。眼、耳鼻、食道などに、異物が入って困っているときには、臍を押えて、頸椎七番を叩くと、異物は出てしまいます。

日射病の場合。これはご承知の如く塩素と一酸化炭素の化合、ホスゲンガスのために起るのですから、斯様な場合には、日蔭に連れて行って、水をふっかけてやる。ホスゲンガスは水に解けてしまうのですから、裸療法よりも、水の方が大切です。それから日射病に罹った時には、何か必ず食わすことが肝要です。胃塩酸が出て来たのですから、何か食物を与えると治るのです。…以下続く。

## 解 説

毛管運動ってすごいですね。何でもかんでも治してしまいますね。簡単に説明しますと、通常は動脈→毛細血管→静脈の血流が、毛管では動脈→動静脈吻合→静脈と流れ、毛細血管は通りません。それ故にもものすごい速さで流れます。流水不腐の理屈で、化膿しないということです。西勝造先生は、この毛管を把握しない医学、医療は不完全だと明言しています。ケガや病気に有効とは分かっていたましたが、毒虫、蛇、マラリヤにも有効だと分かり、非常時の応急処置には有難い情報でした。西先生は本来は土木工学博士で、数式や化学式を駆使して理論を検証、構成して、その後実行に移しました。日射病についてホスゲンガスに言及しています。ホスゲンガスの分子式は $\text{COCl}_2$ で、水があると加水分解して



となり 二酸化炭素と塩化水素となります。ホスゲンガスは第一次世界大戦で毒ガスとして用いられ、猛毒です。塩化水素は塩酸であり、胃では胃塩酸(いわゆる胃酸)であり、食物を摂ると消化に使われて減少するということだと思います。ウイキペディアでも日射病についてここまで詳しくは解説されていません。得がたい情報でした。